

平成28年度

田原市のまちづくり

2月29日(月)に開会した田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、平成28年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。また、同定例会では花井隆教育長も教育方針を説明し、平成28年度予算案も原案どおり可決されましたので、施政方針および教育方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

《施政方針の要旨》

昨年は、わが国の社会経済や地方の未来にとって、大きな転換期となる国政の動きが目立つ年でありました。まず、「地方創生」の取り組みと、それに関連する「一億総活躍社会」の推進がござります。

本市においては、長きにわたり農業基盤整備や臨海工業地帯への企業誘致など産業振興、市街地活性化などの生活基盤の向上、地域コミュニティ主体のまちづくりによる官民協働の推進など、「地方創生」の理念を先取りした地域づくりを進めてまいりました。

一方、昨年末に閣議決定された平成28年度税制改正大綱により、法人市民税の大幅なマイナスが見込まれています。

他に先駆け自立した地域を目指してきた本市としましては、今回の税制改正は、誠に遺憾であります。

この難局に立ち向かうためには、これまでのまちづくりの理念を継承しながら、将来を見据え、さらに地域活性化策を推進していかなければならないと考えています。

* * *

このたび「改定版第1次田原市総

合計画」の理念を引き継いだ「田原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

総合戦略の基本方針である、①雇用の創出・就労促進②定住・移住促進③若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現④地域の魅力・住み良さの向上を、本年度の重点施策として取り組んでまいります。

* * *

いずれも、「安心して住める、住んで楽しい元気な渥美半島」を実現するための重点課題です。これらにスピード感を持って取り組むため、市役所の機構改革を行います。

* * *

地方創生を果たすためには広域連携による一体的な地域振興、課題解決への取り組みを本格化し、広域圏で機能を補完しあうことも必要です。東三河広域連合での共同事務処理をはじめ、浜松三ヶ日・豊橋道路などの整備促進や設楽ダムの早期完成など、地域一丸で圏域全体の活性化に取り組んでまいります。

◆施政方針の全文は、田原市ホームページでご覧いただけます。

ID1003573

《教育方針の要旨》

【学校教育】学校再編は時間をかけて多くの意見を聞いた上で、学校全体配置計画の見直しを含め丁寧に進めていきます。また、老朽化が進む学校施設は、建て替えか改修かを十分に検討します。いじめ・不登校対策は、昨年策定した「いじめ防止方針」を実行するとともに、教育サポートセンターを核とした相談活動を充実します。さらに、学力向上のため授業のあり方などを改善し、基礎・基本の定着を図ります。

【生涯学習】文化体験教室などの学ぶ機会と、児童クラブや放課後子ども教室の充実を図ります。また、ふるさとの歴史や文化、自然を知る講座などを充実させます。さらに、読書や図書館利用の推進を図るため、学校図書館支援センター設置を検討します。

【スポーツ】すべての世代でスポーツを始めるきっかけづくりとなる事業を行うとともに、指導者の育成や、団体への支援の充実を図ります。また、スポーツ振興のため必要な施設を見極め、計画的な整備を行います。

◆教育方針の全文は、田原市ホームページでご覧いただけます。

ID1003649